

## 障害者権利条約 国連から初の改善勧告 「インクルーシブ保育」のパイオニア、どろんこ会グループは 学校での「インクルーシブ教育」の土台を乳幼児期からつくります

日本の障害者権利条約の取り組みに対する国際連合（国連）による初めての審査が2022年8月に実施され、9月9日に国連の障害者権利委員会より日本に対する改善勧告が発表されました。

勧告では、母子保健法に基づき行われている早期発見・早期療育が障害のある子どもを社会的に隔離することにつながっていることを指摘、全ての障害のある子どもの完全な社会的包摂の権利を認めることを目的に現行の法律を見直し、他の子どもと平等に早い時期から一般の保育制度を十分に享受できるよう、全ての措置を講じることを求められました。

どろんこ会グループ（本社：東京都渋谷区 理事長：安永愛香）は、日本が障害者権利条約を批准した翌年の2015年から、障害の有無で子育てを分けない「インクルーシブ保育」の実践のため、認可保育園と児童発達支援事業所を併設したインクルーシブモデルの展開を始めた、いわば「インクルーシブ保育のパイオニア」であることを自負しております。

人格形成における重要な時期にあたる乳幼児期の「インクルーシブ保育」の実践は注目いただいており、現在自治体関係者・研究機関・保育教育関係者からの視察・講演依頼などを数多く受けております。

### 多様な子どもたちが混ざり、育ち合うインクルーシブ保育を実践

どろんこ会グループでは創業した1998年当時から、公立をはじめとする認可保育園で受け入れられなかった障害のある子どもたちを受け入れ保育してきた経験をもとに、引き続き障害児保育を積極的に実施しているという背景があります。

日本では2012年の児童福祉法の改正に伴い、児童発達支援事業が拡大し、また、発達障害の認知度も高まってきました。しかし、未就学児においては保育園や幼稚園に通っている子どもも、通っていない子どもも、発達支援は園とは別の場所で受けなければならない、早期から分けられてしまう状況にありました。

どろんこ会グループでは2014年に初の児童発達支援事業所を東京都杉並区に開所いたしました。かねてより障害の有無に関わらず、一人ひとり多様な子どもたちが共に遊び、生活し、育ち合うインクルーシブ保育の必要性を唱え、それを実現するための一歩として、2015年に認可保育所と児童発達支援事業所を併設したインクルーシブモデルを初めて開設しました。2022年9月現在では東京、埼玉、千葉、神奈川、福島に8つの併設施設を運営しています。

併設施設においては、健常児も障害児も同じ部屋で混ざり合って過ごします。子どもたち同士で助け合う姿、他の子どもに触発されて自発的・意欲的に行動する姿など、健常児も障害児も双方が驚くほど成長する瞬間を見ることができるのも併設施設ならではの醍醐味です。子どもたちは共に活動する一方で、専門士を配置し、一人ひとりの発達状態に応じたきめ細かな支援も行うことで、真のインクルージョンを目指しています。

保育園の多機能化も注目される今、併設であれば障害児通所支援の制度を活用することで、就労条件等から認可保育園を利用できない家庭の子どもも多様な子どもたちと混ざり合い、個々に必要な支援もある保育を受けることが可能となります。どろんこ会グループではこういったインクルーシブモデルをさらに展開しながら、保育と発達支援の在り方を社会に問い直し、学校でのインクルーシブ教育が推進される土台をつくっていきます。どろんこ会グループのインクルーシブ保育、インクルーシブモデルについてご関心のあるメディアの方からのご取材を積極的にお受けしております。下記までご連絡をお待ちしております。



## どろんこ会の認可保育所と児童発達支援事業所の併設施設一覧

開設年度	認可保育所名	児童発達支援事業所名	所在地
2015	駒沢どろんこ保育園	発達支援つむぎ 駒沢ルーム	東京都世田谷区
2016	ふじみ野どろんこ保育園	発達支援つむぎ ふじみ野ルーム	埼玉県ふじみ野市
2017	メリー★ポピズ 桶川ルーム	発達支援つむぎ 桶川ルーム	埼玉県桶川市
2017	北千住どろんこ保育園	発達支援つむぎ 北千住ルーム	東京都足立区
2018	つつじヶ丘どろんこ保育園	発達支援つむぎ つつじヶ丘ルーム	東京都調布市
2018	宮下どろんこ保育園	発達支援つむぎ 宮下ルーム	千葉県君津市
2021	新羽どろんこ保育園	発達支援つむぎ 新羽ルーム	神奈川県横浜市港南区
2021	八山田どろんこ保育園	発達支援つむぎ 八山田ルーム	福島県郡山市
2023 予定	(仮称) 内箕輪どろんこ保育園	(仮称) 発達支援つむぎ 内箕輪ルーム	千葉県君津市
2023 予定	(仮称) メリー★ポピズ 海老名ルーム	(仮称) 発達支援つむぎ 海老名ルーム	神奈川県海老名市
2023 予定	(仮称) 香取台どろんこ保育園	(仮称) 発達支援つむぎ 香取台ルーム ※放課後等デイサービスも実施 (仮称) 香取台どろんこ学童	茨城県つくば市

## 2023年4月、インクルーシブモデルをさらに3施設オープン！

2023年4月、千葉県君津市、神奈川県海老名市、そして茨城県つくば市に新たなインクルーシブモデルを開園します。

(仮称) 内箕輪どろんこ保育園（千葉県）は公立保育園の民営化公募の際、認可保育園 x 児童発達支援事業所 x 子育て支援施設の多機能施設を提案し、採択されました。

(仮称) メリー★ポピズ 海老名ルーム（神奈川県）は、海老名市初の併設施設として、株式会社小田急電鉄がこの秋グランドオープンする駅ビルに入ります。



(仮称) 香取台どろんこ保育園は、認可保育園、児童発達支援事業所、学童保育、放課後等デイサービスを一つ屋根の下に備えた多機能化モデルとなります。同年に新設される小学校のすぐ近くとあって、すでに多数のお問い合わせをいただいている状況です。今回の勧告では障害のある子どもが分離される特別教育への懸念も表明されました。学校だけでなく、放課後も過ごす場所が分断されている就学後の課題を（仮称）香取台どろんこ保育園、（仮称）発達支援つむぎ 香取台ルーム、（仮称）香取台どろんこ学童のモデルを通じ解決していきます。

どろんこ会グループ（社会福祉法人どろんこ会、株式会社ゴーエスト、株式会社日本福祉総合研究所、株式会社南魚沼生産組合、株式会社 Doronko Agri）は全国約 150 箇所の認可保育園、事業所内保育所、児童発達支援センター、学童、子育て支援施設、就労継続支援 B 型事業所等を運営。次代を担う子どもたちの「にげん力」を育む体験型保育・自然保育を行う。幼児期の性教育や男性保育士比率の高さなど、各種メディアでもその取り組みが紹介されている。1998 年設立。職員数約 2000 人。利用者数約 7000 人。（2022 年 9 月）

HP : <https://www.doronko.jp/> Facebook : <https://www.facebook.com/doronkokai/>

Twitter : @doronko\_offical Instagram : @doronko\_official

Youtube : <https://youtu.be/d-SV7YuQmIM>

【本件に関するお問い合わせ先】

どろんこ会グループ（東京都渋谷区渋谷 1-2-5 MFPR 渋谷ビル 13F）

広報部 松本 TEL : 03-5766-8059 Email : [koho@doronko.jp](mailto:koho@doronko.jp)